

としょだより

がつごう
11月号

こまにししやうがっこう 駒西小学校
がっこうとしやかんしえんいん 学校図書館支援員
さかい 坂井



駒西小の「読書の秋」がやってきました。いつも以上に本に親しんでくれていたら嬉しいです。探している本などがあれば、気軽に声をかけてくださいね！



う

ち

ど

く

は、いかがですか

「家読（うちどく）」は「家庭読書」を略した言葉。

家族みんなで読書をして、家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書運動です。

「家族で同じ本を読む」「同じ時間にそれぞれ好きな本を読む」

「読んだ本について感想を語り合う」など、取り組み方は自由。

駒西小の読書月間で取り組む「読書ビンゴ」には“おうちの人の読み聞かせ”という欄がある学年も。ぜひ、家族で読書の楽しさを共有してみませんか。



「うちどく」おすすめの本

『ミッケ！』シリーズ

ウォルター・ウィック/写真, 糸井重里/訳, 小学館



読書＝物語、というわけでもありません。こんな本から始めてみませんか？だれでも楽しめる「探し絵」の本。見つけるのは子どもの方が早かったりして…！？でも、「じょうまえ」「やじり」など、聞きなれない言葉も多いので、大人も活躍でき、語いも増えます。【おとぎ・図書室】

『おおきな木』

シエル・シルヴァスタイン/作, 村上春樹/訳, あすなろ書房



お互いがいれば幸せだった、少年とりんごの木。けれど少年は成長し、ふたりの関係も変わって…子どもと大人で、きっと感想が違ふ本。大人になった時にもまた読んで欲しい名作です。【図書室】

新しい本がきました

☆おとぎ ★図書室

☆『ふうせん はじめてのサイエンス』 セシル・ジュグラ他/文, NHK出版

☆『タコとイカはどうちがう？』 峯水亮/写真, ポプラ社

★『ずかんプランクトン』 清水洋美/編著, 技術評論社

★『古代遺跡の学校』 ニュートンプレス



『カラスウリ』 藤丸篤夫/しゃしん, 有沢重雄/ぶん, そうえん社



秋にまっかな実をつける「カラスウリ」を知っていますか？夏にさく花は、白いレースのよう。赤くなる前の実は、みんながよく知っている野菜や果物にそっくり！驚きの秘密がいっぱいの写真絵本です☆

『とけるとゾツとするこわい算数』1～3巻 小林丸々/作, ポプラ社



おなかをすかせた鬼はだれを食べたかわかる？強盗がアンナさんの部屋に隠れている確率は？…算数×こわい話×ナゾトキをミックス！意味がわかるとゾツとするお話がたくさん入った短編シリーズ★

『小学生の究極の自学ノート図鑑』

森川正樹/著, 小学館



だれかの自主学習ノートを見たことはありますか？この本では、個性豊かな小学生のノートをカラーで紹介しします。思わず笑ってしまうテーマから関心するまとめ方まで、一見の価値あり！ ☆⇔★



おとぎの森・図書室のようす



<1年生> こくご「くじらぐも」ブックトーク、読み聞かせ

<2年生> 国語「お手紙」ブックトーク、読み聞かせ

<3年生> 国語「食べ物のひみつを教えます」資料貸出

<4年生> 国語「ごんぎつね」ブックトーク

<5年生> 読書、読み聞かせ

<6年生> 国語「発見、日本文化のみりよく」ブックトーク

<こすもす> 読書、読み聞かせ

などで利用されていました。